北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 （整理番号）	子宮悪性腫瘍に対する臨床病理学的予後因子および長期予後に関する疫学的研究（B22-169）
当院の研究責任者 （所属・職位）	北里大学医学部婦人科学　教授　加藤一喜
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	子宮悪性腫瘍には子宮頸癌および子宮体癌があります。本邦においては、子宮頸癌検診の受診率が低く、HPV ワクチン接種率も低いことから子宮頸癌罹患数は増加の一途を辿っています。また食生活の欧米化と肥満の増加に伴い、子宮体癌の罹患数も大幅に増加しています。 当院では日本婦人科腫瘍学会のガイドラインを遵守しつつ最新の知見を取り入れた最善の治療を行っております。治療法の進歩に伴い、生存率は年々改善されていますが、患者さんの予後を改善する因子は完全に解明されているとは言えません。 そこで当院婦人科では、子宮悪性腫瘍の患者さんの診療記録を後方視的に調査する事により、予後と関連する因子を同定する「子宮悪性腫瘍に対する臨床病理学的予後因子および長期予後に関する疫学的研究」を行うこととしました。
調査データ 該当期間	2004 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2004 年 1 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日に当院で初回治療を受けた子宮悪性腫瘍（子宮頸癌、子宮体癌、子宮肉腫）の患者さん
研究の方法 （使用する試料等）	利用する情報 2004 年 1 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日まで当院で治療を開始した子宮悪性腫瘍患者さんの、2027 年 12 月 31 日までの診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	研究機関の長の許可日から
本研究の資金源 （利益相反）	本研究の遂行のための費用は産婦人科学教室研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としません

	ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:北里大学医学部婦人科学　講師 担　当　者:谷口智子(タニグチトモコ) 電　　話:042-778-8414
備　考	